

地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会 【世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域－椎葉山編】



世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域
World Agricultural Heritage Site
Takikago・Shibusen Mountain Area

令和4年10月29日（土）に県内の小学生を対象とした現地学習会を実施しました！

今回は、日本最後の秘境と呼ばれる椎葉村の奥山で、
約4000年続く伝統的で持続可能な農業システム「焼畑農法」について、体験を交えながら学びました。



- 〈参加者数〉 12名
- 〈実施内容〉 ○そば刈り体験
○脱穀作業・そば打ち・餅つき

○そば刈り体験

手鎌を使った蕎麦の収穫作業では、慣れない作業に苦戦しながらも、夢中になって楽しんでいました。
蕎麦以外にも在来種のカブなど、その場でしか味わえない山の食資源について教えてもらいました。



○脱穀作業・そば打ち・餅つき

収穫した蕎麦を、石臼を使って脱穀してそば粉にしました。
子どもたちは、地域の方々や大学生と一緒に餅を作り、自分たちでついた餅と焼畑で収穫されたあわ、椎茸などの地元の食材を使った料理を楽しんでいました。
森林伐採→焼畑→作物を育てる→森に戻すという地域の循環型システムについても学びました。



ふりかえりの時間には、

「肥料を使わずに作物ができるのもすごいと思った。」

「そばがいつもよりおいしく感じた。」

「普段はそばが苦手だが、作る過程が楽しかったので美味しく食べられた。」との声が聞かれました。

約4000年続く伝統的で持続可能な農業システム「焼畑農業」の文化や営みについて学ぶいい機会になったと感じています。

